

SmartRem ファームウェア、表示データ入れ替えマニュアル

1. 手順

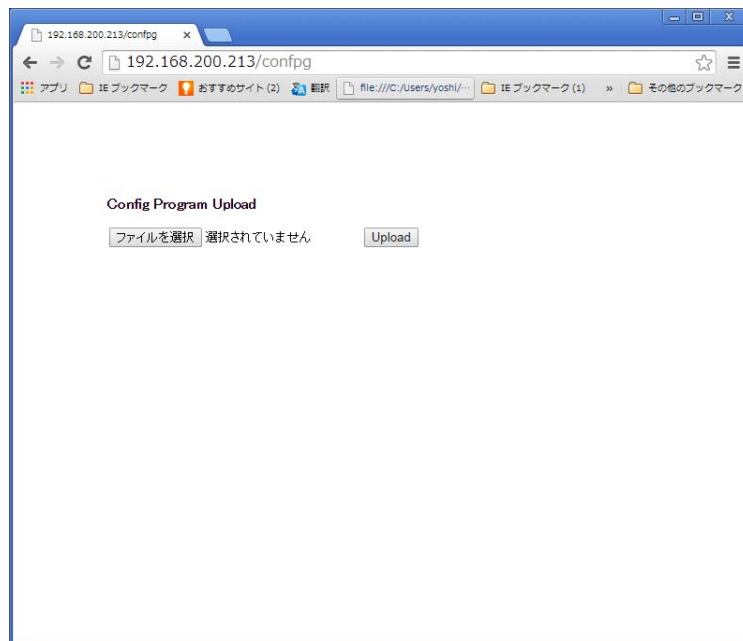
SmartRem に新しいファームウェアを導入する手順は、

- ① 新しいファームウェア、表示データを入手する。
- ② SmartRem に新しいファームウェアを保存する。
- ③ SmartRem の設定データを全てメモする。
- ④ SmartRem を新しいファームウェアで起動する。
- ⑤ SmartRemDiscover.exe で SmartRem を探す。
- ⑦ SmartRem に新しい表示データを送る。
- ⑥ 記録したメモを見て、IP アドレスを元に戻し、再起動する。
- ⑧ SmartRem の全ての設定データを戻す。

となります。

2. SmartRem の新ファームウェア保存

SmartRem は、特別な機器を使わずに新しいファームウェアを受け取ることができます。



- ブラウザの URL に **http://IP アドレス/confpg** と入力します。(IP アドレスは、ネットワーク設定画面の IP アドレスに表示されている値です。)
- ファイル選択画面が表示されますので、SmartRem のプログラムファイル(******.hex 形式**)を選択し、Upload ボタンをクリックします。
- 成功すると Success と表示されます。

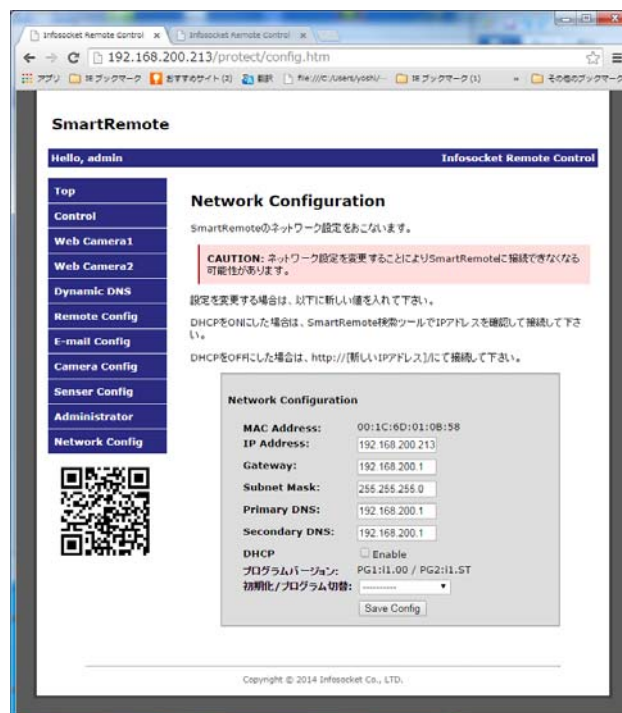
- 新しいファームウェアは、SmartRem のバンク 2 (PG2)に格納されます。(ファームウェアのバンク 1 (PG1)が空いている場合はバンク 1 (PG1)に格納されます)

3. SmartRem の設定データを全てメモする

SmartRem の操作設定、センサー設定、カメラ登録、管理者設定、ダイナミック DNS、メール設定、ネットワーク設定の各画面の設定値をメモします。(パソコン上で画面のスクリーンショットを取ることをお勧めします。)

4. SmartRem のファームウェア切替

SmartRem は、2つのファームウェアを内蔵します。



- Network Config 画面のプログラムバージョンの PG1 と PG2 のプログラムのバージョンが表示されます。
- 設定初期化／プログラム切替の選択により動作プログラムを切り替えることが可能です。
 - ① 設定初期化 → 全ての設定を削除し工場出荷時に戻します。
 - ② プログラム 1 起動 → プログラム 1 で起動します。全ての設定は工場出荷時に戻ります。
 - ③ プログラム 2 起動 → プログラム 2 で起動します。全ての設定は工場出荷時に戻ります。
- プログラムを切り替えた場合は、DHCP が有効になりますので初期設定から開始する必要があります。

5. Smartrem を探す。

SmartRemDiscover.exe で SmartRem を探し SmartRem に接続します。

6. SmartRem の Web 表示データの変更

SmartRem に新しいファームウェアに対応した表示データを格納します。。



- ブラウザの URL に http://IP アドレス/mpfsupload と入力します。
- ファイル選択画面が表示されますので、SmartRem の Web 表示用ファイル(****.bin 形式)を選択し、Upload ボタンをクリックします。
- 成功すると Success と表示されます。
- Web 表示データは Upload すると次の表示からすぐに反映されます。

7. SmartRem の設定データを戻します。

控えておいた全ての設定データを戻します。

- まず、ネットワーク設定の変更を行います。
- 基本設定の「MAIL/DDNS 登録」は実行する必要がありません。
- ダイナミック DNS のパスワード、メール設定のパスワードは、必ず以前と同じ値を設定します。また、ダイナミック DNS の「DDNS を使用」、メール設定の「メール送信」は必ずチェックを入れる事。

8. 問い合わせ

内容に関する問い合わせは、インフォソケットまでお願いします。

有限会社インフォソケット

E-mail: info@smartrem.jp